

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「上市地区の奉納子ども相撲」

昔、上市新池近くの一番山には、相撲の好きな周波（すわ）の神さんが住んでいました。周波の神さんは、五穀豊穡の神様ですが、たいそう相撲と子どもが好きだということで、歴代の宮司さんたちは子どもを集めては勉強を教えたり、相撲をとって遊ばせたりしていました。昔は今と違って、遊び道具が少なかったので、子どもたちは大変喜んで毎日遊んでいました。おかげで子どもたちは元気で心身ともに成長し、立派な青年に育ちました。

明治42年4月に神社法が改正になり、一番山にあった周波神社は、現在の甲賀神社の境内に移されました。

電灯もなかった頃は、たいまつのみかりで男の子のみが相撲を取り、元気な声が夜遅くまで響き渡っていました。祭り見物に来た人は、お米一升を周波の神さんにお供えし

「今年も家族が元気でありますように」「お米がたくさん取れますように」とお参りした後、勇ましい子ども相撲を見て楽しんでいました。

長い伝統を受け継ぎ、相撲の参加者は男の子だけでしたが、30年前頃からは少子化のため女の子を含め幼児から中学生まで参加できるようになり、今でも、10月18日の夜、周波神社のお祭りとして奉納子ども相撲が行われています。



奉納子ども相撲の様子

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

「桜の名所をめざして」（陽春と志河川ダム）

3月初旬に中川地区2カ所で桜の植樹が行われました。一つは、来見地区にある市の天然記念物の「陽春」です。90年余り前、近くに農業用水ができたのを記念して植えたといわれていますが、樹齢は90年を超え、部分的に枯れ始めていました。地元では、この地域で生まれてシンボルとして親しまれている名桜を何とか後世に残したいと思い、

一部の枯枝が見えるものの見事に咲いた陽春の原木（写真中央）



地域の期待を集め植樹された「陽春2世」

松山の樹木医に協力を依頼し、このほど原木から接ぎ木し育てた苗を原木の隣へ植樹しました。「陽春」の原木は、同時に植えたソメイヨシノが枯れた後も、30年以上長生きしており、今から植樹をした陽春2世の成長が楽しみです。

もう1カ所は、志河川ダムの周辺です。志河川ダムの完成に伴い周辺整備事業の一環で、桜55本ともみじ30本を近隣の志川、湯谷口、楠窪の3集落の住民など約90人が植樹を行いました。志河川ダム周辺は遊歩道も整備されており、これからの季節、清流を吹きぬける心地よい川風とさわやかな新緑を楽しむ散策に出かけてみてはいかがでしょうか。



ダム周辺での植樹の様子

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

待望の石根公民館が完成

小松町石根地区に、地域住民が待ち望んでいた石根公民館が新築完成しました。4月20日には落成式が行われ、利用も始まりました。木造平屋造りの館内には和室とホールがあり、さらに館内と段差なしでつながるテラスが南側に広がっています。

明るく温かみのある公民館の完成に、地域の皆さんは「フロアが広々として、天井が高く吹き抜けのようになっており、落ち着いた感じですね。これから大事に長く使っていきたいです」「館内は木の香りがして気持ちいいですね。たくさんの方が集まるふれあいの場となり、地域が盛り上がり上がっていただけたいですね」「館内は段差もなく広々としていて、ホールには鏡もあるので、踊りをするときに動作の確認ができていいですね」と話してくれ、新しい公

民館での活動を楽しみにしているようでした。

石根公民館では新築落成を記念して、5月14日に「上方落語と介護予防の手づくり演劇（入場無料・整理券必要）」を、11月には記念文化祭を開催する予定です。お誘いあわせて、ぜひお越しください。

※新築記念落語会、記念文化祭、通常の利用方法などは、石根公民館（TEL0898-72-2620）へお問い合わせください。



開放的なテラス

外観

広々とした和室